

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	80.0%	自校A B層の割合	80.0%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研究を軸として、授業改善を推進する。国語科文学的文章を切り口に、全文シートを活用した教材研究、問題把握→自力解決→ペア・全体交流の学習過程、めあてや振り返りを意識した単元作りなどの方法で授業作りを行う。</li> <li>「船二小授業作りスタンダード」を活用して、授業改善を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週2回のベーシックデイで、東京ベーシックドリルを活用した学習を行い、漢字と計算技能の定着を図る。</li> <li>読書科の授業や週2回の読書タイムなどを通して、本で学ぶ児童を育てる。（江戸川区調べる学習コンクール・2月の校内読書科コンクールを実施）</li> <li>全校（1年生は2学期から）算数科において、習熟度別指導を取り入れ、きめ細かな指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「やってよかった！船二式家庭学習」を活用し、家庭学習の方法を児童や家庭に伝えることで、内容の充実を図る。</li> <li>年3回のStudy Weekを実施し、（学年×10+10）分間の家庭学習習慣が身に付くよう協力を呼びかける。</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材研究を行い、支援の手立てを明確化して授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週1回の放課後学習教室を通して、個に応じた指導を行うことで、算数の既習事項の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Study Weekを節目にして、各学級で内容や時間配分などを共有することで、目標時間に到達していない児童が見通しをもって家庭学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国学力学習状況調査「児童・生徒質問紙」における設問「国語・算数の授業の内容はよく分かりますか」への肯定的な回答80%以上を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学期の東京ベーシックドリル算数診断シートにおける、各学年の目標到達値の通過率を達成しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Study Weekの全児童の目標達成率80%以上を達成しているか。</li> </ul>